



### 校章の由来

県立三中を意味した三つの剣を組み合わせ、初代大屋校長の考えで剛健・真剣・勤儉の三けん、更に智・仁・勇の三徳を兼ねた象徴として用いられて来た

# 厚高同窓会報

〈第53号〉2019年(令和元年)11月1日(金)発行  
<http://www.atsukou-dousou.org>

旧制中学卒業生 3,915名  
新制高校卒業生 27,483名  
合 計 31,398名

発行  
神奈川県立厚木高等学校同窓会

編集  
厚木高等学校同窓会広報委員会  
TEL 046 (221) 4078  
FAX 046 (222) 8243



「校歌祭」写真は秦野戸陵会・大野真一氏提供

## 80周年の歴史を刻む 同窓林契約更新へ



同窓会会長  
曾根 秀敏 (高14回)

去る6月23日、令和という新たな時代を迎えての通常総会が開催されました。

冒頭の挨拶で、各支部等の活動並びに本部三大事業の隆盛ぶりを披露し、この勢いが「校歌祭」にも反映され、厚高の圧倒的な存在感の発揮に繋がっていることに、心からの労いと感謝を申し上げることも、懸念の会費収入が増加の兆しを見せていることや、寄付の気運の高まりにも謝意を表しつつ、文武両道で躍進する母校を支援し、共に歩む同窓会への理解、協力をお願いいたしました。

続く議事審議においては、通常議案と併せ、「思い出の杜に親しむ会」の事業拠点となっている同窓林の「分収造林契約の更新」を提案させていただきました。

この同窓林の由来や現状については、これまでの会報の中の「支部会便り」で愛川戸陵会が詳しく述べておられますが、昭和15年、学校が愛川町から借り受け、「学校報国林」として始まったもので、昭和40年の同窓会への移管を経て、来年の3月に契約期間が満了を迎えるものであります。

学校林当時は、多くの先輩方が植林や下草刈り等の労働奉仕に汗を流し、同窓林となってからは、その管理を偏に愛川戸陵会のご尽力に預かりながら、母校の創立90周年や100周年に因んだ記念碑設置や記念植樹も施され、多くの同窓生が想い出に浸る集いの舞台ともなっていることから、この同窓林を、母校と並ぶ同窓会活動の「拠り所」として引き続き保有し、伝統ある同窓会の歴史を後世にも引き継ぎたいと願い、契約更新の承認を賜った次第であります。

今後の管理等の在り方には、十分検討を加える必要もありませんが、昭和、平成、そして令和と80年にも亘る歴史を刻んできたことを寿ぎながら、同窓会の大切な財産として守っていくようではありませんか。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

本部活動報告

平成30年度の事業報告より

5大行事に活況呈す

若年層の参加に課題も

総会議演に勝又氏(高18)

平成最後の年度となった平成30年度も、同窓会活動に多くの会員の皆様が参加を得て、多くの事業が開催されました。

定例総会では平成30年6月23日、レンブラントホテル厚木において開催されました。総会後の講演会では国際教養大学名誉教授である勝又美智雄氏(高18回)に講演をお願ひし、今後、ますます進むグローバル社会における国際社会で活躍する人材の必要性について、興味深いお話をいただくことが出来ました。



同期(高18回)の仲間に囲まれる講師の勝又氏(前列中央)

連合会報との一元化

次に広報活動に関連して、次号の会報53号から発行時期を9月とすることとなりました。発行時期の変更の際には、これまで充実した紙面で定評のあった『厚木連合戸陵会だより』との一元化発行に向けて検討を重ね、このたびの発行時期となりました。この結果、広報事業の課題となっていた「広告協賛」についても、多くの会員



同窓林を臨む広場に集う「懐い出の社に親しむ会」

の協力により充実した広告掲載ができるようになりました。

同窓林の契約更新へ

また、これまで愛川戸陵会に管理をお願いしていた同窓林につきましては、愛川町との分収林契約が2021年に契約満了となることから、大貫邦重会長(高16回卒)をはじめ愛川戸陵会の役員の方々が愛川町関係者と協議を進めてまいります。

最後に、昨年平成30年7月に逝去された厚木連合会戸陵会前会長杉田泰繁氏(高14回)については、百周年記念事業において中心的役割を果たされ、その後、同窓会本部事務局長や副会長として、チャリティゴルフコンペの事業実施など同窓会活動の充実、発展にご尽力いただきました。ここに改めてご冥福をお祈りいたします。

第4回チャリティゴルフコンペ開催

第4回チャリティゴルフコンペ(厚木高校同窓会主催、厚木連合戸陵会主管)が、平成30年11月12日に、本厚木カントリークラブで

開催されました。朝方からの雨もプレー開始時には止み、絶好のゴルフ日和となりました。当日は、32組123名の参加で、盛大に行われました。

終了後、表彰式・懇親会が行われ、クラブハウス内が参加者の歓声で大いに盛り上がりました。

優勝は、近藤操可さん(高20回)でした。なお、大会参加者から母校支援基金に、20万円のチャリティ募金がありました。主管である厚木連合戸陵会伊藤会長代行より同窓会曾根会長に贈呈されました。

第18回地引網が好天下で大盛況

好天に恵まれたゴルフデンウィークの令和元年5月4日、恒例の地引網が参加149名(内子供21名)にて江の島堀川網において開催されました。

午前10時に同窓会曾根秀敏会長の「天候に恵まれこのように多くの会員の参加のもと地引網が行われることは大変喜ばしい」の、挨拶後、藤沢戸陵会泊瀬川会長の海岸清掃ボランティア活動の説明とともに清掃を30分程行いました。



近年、ファミリーや同窓生以外の友人の参加も増えてきた「地引網」

その間に、藤沢戸陵会会員により、肉・魚・旬の野菜タケノコ等々によるバーベキューの準備が行われ、お握り、飲み物等豊富に用意され、しばし舌鼓をうち、11時30分より本番の地引網が行われ多くの収穫がありました。天ぷらが出され、カンパチの解体ショーを見学し、新鮮な刺身が配布され、なごやかに過ごしました。午後1時に全員で校歌を歌い解散となりました。参加者の方々にはアジ、イワシのおみやげがありました。

広報委・井上良信(高21回)

令和元年度 事業計画

- 平成31年
  - 4月13日(土) 創立117周年開校記念日
  - 4月21日(日) 津久井戸陵会総会
  - 4月27日(土) 睦合戸陵会総会
  - 令和元年
    - 5月4日(土) 玉川・森の里戸陵会総会
    - 第18回地引網会(沼沼堀川網)
    - 5月11日(土) 伊勢原戸陵会総会
    - 5月19日(日) 綾瀬戸陵会総会
    - 5月25日(土) 相模原戸陵会総会
    - 5月26日(日) 平塚戸陵会総会
    - 5月26日(日) 荻野戸陵会総会
    - 5月30日(木) 小鮎戸陵会総会
    - 6月1日(土) 南毛利戸陵会総会
    - 6月2日(日) 厚木戸陵会総会
    - 6月8日(土) 役員会・理事会
    - 6月9日(日) 関西戸陵会総会
    - 6月15日(土) 愛川戸陵会総会
    - 6月16日(日) 依知戸陵会総会
    - 6月16日(日) 座間戸陵会総会
    - 6月22日(日) 海老名戸陵会総会
    - 6月23日(土) 令和元年度通常総会(レンブラントホテル厚木)
    - 7月7日(日) 大和戸陵会総会
    - 7月28日(日) 厚木連合戸陵会総会(元湯旅館)
    - 8月24日(日) 相模原戸陵会納涼会
    - 9月29日(土) 校歌祭練習会
    - 10月12日(日) 第14回 青春かながわ校歌祭(横浜・青少年センター)
    - 10月13日(土) さくら戸陵会総会
    - 10月21日(日) 第5回 チャリティゴルフコンペ
    - 11月9日(月) 秦野戸陵会総会
    - 11月16日(土) 懐い出の社に親しむ会(レインボープラザ)
    - 令和2年
      - 2月 相模原戸陵会賀詞交換会
      - 3月1日(日) 藤沢戸陵会総会

“本物志向の金物店” 建築金物・家族金物・工具・刃物 (有)足立原商店

代表取締役 足立原 強(高16回) 神奈川県厚木市水引1丁目1番2号 TEL 046-221-1059 FAX 046-221-1259



イトウスポーツ

代表取締役 伊藤 修治(高17回) TEL.046(224)9397・(223)3458 FAX.046(221)0540 旧イトーヨーカドー西隣

土地・建物・賃貸・売買・分譲 SUGITA 不動産のことなら何でもご相談ください

株式会社 杉田商事

代表取締役 杉田 光一 神奈川県厚木市旭町2-1-17 TEL.046-228-4581 E-mail info@sugitasyoji.co.jp URL https://www.sugitasyoji.co.jp

令和元年度の主な実施事業

令和最初の通常総会開催  
3年後の創立120周年の序章

令和元年6月23日、レンブラントホテル3F「相模(東)の間」において令和元年度通常総会が開催されました。

総会開会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、落合重治副会長(高13回)の開会の辞、曾根秀敏同窓会長(高14回)の挨拶、及び上前悟学校長の挨拶がありました。

曾根秀敏同窓会会長挨拶  
母校と共に発展する  
同窓会を目指して

昨年の総会以降の同窓会活動を振り返ってみますと、まずもってご報告しなければならぬのは同窓会の財産とも言うべき、県外を含む26支部の支部活動が隆盛を誇っていると言うことです。これもひとえに役員の皆様を始めとする会員の皆様のご尽力の賜物であり、本当にありがたいと感じています。さて、同窓会の三大事業についてですが、藤沢戸陵会、愛川戸陵会、そして厚木連合戸陵会の皆様、ひとかたならぬご尽力により、毎年多数の皆様にご参加いただき盛大に開催して頂いているのは、大変有り難いことだと思っております。そして、これも毎年恒例となっております、神奈川県内の県立高校が集う、「青春かながわ校歌祭」におきましては、現役生の多数の参加を得ながら、応援団OB、吹奏楽部OB、そしてダンスドリル

その後、議長として小渕正志氏(高18回)が選任されて議事審議に入り、賛成多数で原案通り可決されました。なお、議事終了後、来賓の後藤祐一衆議院議員(高39回)の挨拶及び上前悟校長からの学校報告があり、伊藤修治副会長(高17回)の閉会の辞で、令和元年度通常総会は終了しました。総会後は、昭和

大学名誉教授の島村忠勝氏(高13回)による、「カテキンについて」と題した講演が行われました。



講師の島村忠勝氏(高13回)

懇親会は、出席者中最年長である近藤俊二元同窓会長(高6回)の乾杯の音頭で始まり、和気藹々の雰囲気の中、親睦を深めました。最後には難波角三応援団OB会長(高16回)の指揮による校歌斉唱が行われ、出席者中最年少である白鳥佑記氏(高55回)の挨拶で散会



役員一同これからも皆様方と連携をさせて頂き努力して参りたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願ひ致します。

となりました。広報委員・小島聡(高33回)

と題した講演が行われました。



令和最初の同窓会通常総会

上前悟学校長挨拶  
文武に活躍続ける  
母校の後輩たち

生徒の活躍についてですが、関東大会には男子弓道部と、陸上部が2名参加しました。陸上部の1500mで2年生の安倍立矩(あべりく)君が4位に入り、8月に沖繩で行われるインターハイに出場することになりました。

また、神奈川県文祭には新聞部が参加し、佐賀県で行われる全国大会に出場することになりました。それから大学入試の実績の方ですが、総会資料の方にも載せられていますが、難関国立・旧帝大と医学部を合わせて合格者が16名となり、県の「学力向上進学重点校」の指定基準(10名以上)をクリアしたため、横浜翠嵐高校、湘

南高校、柏陽高校に続いて、厚木高校が昨年4月に「学力向上進学重点校」に指定されました。今年の3月時点で110名を超える生徒が国公立に合格しています。



又、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定が今年で最後と言う形になります。次年度以降はどうしていくかと言うことがあるのですが、5年前にSSHの指定を取ったから以降のことを考える方もいらっしゃると思いますが、SSHの指定を取ったことで進学率が上がっていますし、生徒達の意識も大きく変わっています。

第14回青春かながわ校歌祭

(当初事業計画)

- (1)日時：令和元年10月12日
- (2)会場：県立青少年センター
- (3)厚木高校の出演順は、第二部24番目、15時43分開始予定。
- (4)交通手段：各自公共交通機関でお越しください。厚木大型バス発着所より会場までバスの乗車も可。
- (5)内容：応援団OB、吹奏楽部OB、ダンスドリル部OGによるコラボ。
- (6)参加申し込み：各戸陵会支部で取りまとめ、本部(厚木高校)へFAXで申し込み。
- (7)懇親会：校歌祭終了後、厚木市内で懇親会を予定。

第5回チャリティゴルフコンペのご案内

恒例となった同窓会のゴルフコンペは、現在、本部主催事業として厚木連合戸陵会の主管となっております。今年は次のおり開催いたします。ゴルフコンペを通じて地域間や世代間を超えた会員相互の交流を深めるとともに、連帯感を深め、より一層の組織活性化を図る機会に繋げたいと考えています。つきましては、より多くの同窓の仲間をお誘いのうえ、奮ってご参加くださいますようご案内いたします。

麺食堂  
厚本で生まれて半世紀。  
シンプルでありながら素材にこだわり、  
変わらぬ味と通ったスープと、  
コシのある自家製麺が自慢の中華そば  
(株) SANTA CALA 望月 治男(高16回)

教科書  
(有)内田屋書房  
☎ 046-258-6722  
代表取締役 内田 喜康(高13回)  
■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F  
■東京農大厚木キャンパス店

つるくぼ  
耳鼻咽喉科  
日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長  
医学博士 鶴窪 一行(高26回)  
〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-22  
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

### 学校情報

中垣匡校長が3月31日付で定年退職されました。4月1日付の人事異動では、上前悟校長(鶴見高校)、矢野悟教頭(総合教育センター)をお迎えし、大塚秀光教頭(高34回)が座間総合高校に転任されました。

また、本校出身の池田優太郎先生(高59回)と霜島士郎先生(高28回、再任用)がそれぞれ着任されました。池田先生と霜島先生には、今後同窓会の校内役員としてご協力いただくこととなります。

## 充実した誇りある

## 学校生活に向けて



校長 上前 悟

この度、平成31年4月1日付で鶴見高校より第三十一代校長として着任いたしました。元号が平成から令和へと変わり、世の中も大きな節目を迎える中、教育では新しい教育課程の先行実施、新しい大学入試に向けていよいよ具体的な準備が始まるなど、大きな変革の時に着任しました。伝統ある厚木高校で、今までの経験を活かし、生徒たちのために何ができるかを考え、力いっぱい取り組んでいきたいと思っております。

さて、現代は人口の減少、高齢化、就学・就業構造の変化、急速なグローバル化や人工知能・IoT等の技術関心が進展し、人生百年時代、さらには Society 5.0 という新たな時代が到来しつつあります。その新しい時代の激変する国際情勢、社会構造・産業構造などに対応し、多方面で活躍する人材を私たちは育てていかなければなら

## 伝統の発展と 生徒の可能性に挑戦



教頭 矢野 悟

この4月より、厚木高校に教頭として着任いたしました。これまで厚木高校が県内でも有数の進学実績を誇り、一昨年には学力向上進学重点校に指定されたことや、スーパースクールハイスクールとして積み重ねてきた知見によって高度な授業を展開している学校であるといった程度の認識はあり

ましたが、実はこれまでの教員生活で厚木高校との関わりは特異にありませんでした。しかし、厚木高校への異動を命じる旨の内示をいただき、3月末に中垣校長先生にご挨拶に伺った際、正門をくぐり、広大なグラウンドを眺め、校長室に入った時には、学校全体が持つ風格に圧倒される自分がおりました。卒業生の皆様により培われた伝統の重みを肌で感じた次第です。

4月からは忙しくも充実した日々を過ごさせていただいています。職員室にいますと、先生方が生徒との会話を特に大切にしていることが感じられます。生徒に真摯に向

## 母校に着任し思い出が蘇る



池田 優太郎 (高59回)

き合い、生徒の能力を引き出すことに挑戦しているのです。微力ながら私も大きな可能性を持つ生徒たち一人ひとりの夢がかなえられるよう、また各界で活躍される卒業生を多く輩出されている厚木高校の伝統をさらに発展させられるよう努力していく所存です。何卒ご協力のほどよろしくお願いたします。

本年度より、希望ヶ丘高校より着任しました。思い出のたくさん詰まった母校に赴任することになり、校舎を歩けばどこもかしこも大変懐かし、当時の思い出が蘇ってきました。

当時は勉強と部活にと充実した学校生活を過ごし、朝早く家を出て暗くなってから帰宅する毎日でした。今思えば、体育祭や戸陵祭

祭や戸陵祭など生徒が主体的な活動を取り組むことができたのも、当時の先生方、卒業生や地域の皆様の温かいご支援のおかげだと実感し、とても感謝しております。

母校で教鞭をとることができるとは、大変うれしく感じるとともに、責任を感じています。厚高の3年間は私にとっても将来を考える機会となり、教員となった以上、子どもたちの活動のために多くの時間を費やし、充実した高校生活となるよう努め、たくさんの方を生徒とともに学びたいと考えています。

まだまだ若く至らない点も多々ありますが、後輩たちのために尽力してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

## 進む校舎の改築



校舎2棟のトレイ改修工事が昨年未だに終了し、予定より1年遅れでいよいよ来春より1棟の大規模耐震工事でトレイ改修が行われる。

## 葉山法律事務所弁護士法人

代表弁護士 葉山 岳夫 (高7回)

厚木事務所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-10  
アイディーコート本厚木シティゲート201号  
電話 046(297)3415 FAX 046(297)3416

青山事務所 〒107-0062 東京都港区南青山5-4-6  
パレロワイヤル南青山503号  
電話 03(3797)3690 FAX 03(3797)3950

メールアドレス hayama\_law@king.odn.ne.jp

## 株式会社 肉の田口

厚木市水引1-15-12 046-221-0822  
年中無休 営業時間AM10:00~PM7:00

## 炭火焼 焼肉の田口

飯山店 厚木市飯山1093-4 Tel 046-242-1529  
恵名店 厚木市恵名2-6-5 Tel 046-244-5629  
下今泉店 海老名市下今泉3-1-3 Tel 046-206-4910

代表取締役社長 田口 幸一 (高29回)

## 株式会社 アドベック

広告・デザイン・企画・印刷・撮影・編集・制作

代表取締役 池田 清 (高19回)

〒243-0013 神奈川県厚木市泉町6-7  
TEL 046-228-2210 FAX 046-228-1680  
TEL 090-8855-2196 info@adpec.jp

過去5年間の主要大学合格者数

[現役・既卒の合計数 ( )は既卒者] 平成30年4月3日現在

	学校名	令和元年春	30年春	29年春	28年春	27年春
国立	京都	4 (1)	2 (1)		4 (1)	
	千葉	5 (2)	5 (0)	3 (1)	3 (1)	3 (0)
	筑波	4 (0)	6 (3)	4 (0)	4 (1)	4 (1)
	電気通信	5 (1)	2 (1)	4 (1)	3 (2)	2 (0)
	東京	2 (0)	5 (4)	1 (0)	3 (0)	1 (0)
	東京外国語	2 (0)	2 (1)	3 (0)	1 (0)	3 (0)
	東京工業	6 (0)	6 (0)	9 (3)	6 (1)	5 (0)
	東京農工	3 (2)	6 (1)	3 (1)	5 (3)	2 (0)
	東北	2 (0)	10 (2)	2 (0)	7 (3)	7 (2)
	一橋	3 (0)	3 (1)	2 (1)	5 (2)	2 (0)
	横浜国立	29 (4)	28 (1)	30 (2)	16 (0)	21 (0)
国立計	98 (21)	111 (25)	88 (17)	78 (21)	86 (15)	
公立	首都大学東京	27 (2)	23 (3)	25 (4)	17 (0)	18 (1)
	横浜市立	7 (0)	10 (1)	3 (3)	3 (0)	5 (1)
	公立計	36 (2)	35 (5)	32 (9)	22 (0)	27 (3)
私立	青山学院	75 (8)	52 (7)	79 (12)	60 (6)	76 (17)
	神奈川	17 (6)	11 (6)	11 (5)	15 (0)	17 (6)
	北里	30 (1)	36 (6)	18 (2)	17 (2)	18 (6)
	慶応義塾	42 (10)	50 (13)	38 (13)	34 (5)	37 (4)
	上智	26 (3)	36 (7)	49 (4)	37 (1)	32 (4)
	専修	26 (3)	21 (1)	17 (3)	16 (5)	9 (3)
	中央	94 (19)	78 (12)	84 (16)	100 (14)	76 (9)
	東京理科	55 (16)	50 (20)	29 (7)	39 (14)	36 (11)
	日本	46 (9)	54 (6)	37 (3)	52 (13)	42 (8)
	日本女子	16 (1)	18 (0)	23 (6)	17 (2)	13 (4)
	法政	79 (18)	102 (17)	86 (17)	77 (22)	76 (17)
	明治	145 (26)	123 (18)	125 (18)	148 (31)	120 (16)
	明治学院	20 (3)	20 (3)	26 (6)	25 (4)	23 (4)
	立教	41 (4)	44 (8)	51 (7)	55 (7)	44 (6)
	早稲田	74 (16)	60 (10)	72 (11)	83 (12)	78 (13)
	私立計	1134 (193)	1095 (191)	1057 (197)	1052 (187)	959 (198)

10年振り2度目の  
着任にあたって



霜島 士郎 (高28回)

この度、厚木西高校から着任いたしました。再任用2年目であり、平成21年9年間の厚高での

教員生活を離れ、ちょうど10年が経ちました。今回定年を過ぎ、衰えいく身体と意志の力を感じながらの2度目の着任となりました。担任をした高58回の皆さんには笑われそうですが、本当の「シモジイ」となっています。また百周年の折には会計・記念誌担当として同窓諸兄に、身の程もわきませず、わがままを言い無理を通させていただけました。今思うと赤面の限りであります。お詫びするとともに

に感謝申し上げます。平成から令和へ次代を背負い、新しい時代を作り上げるのであらう紳士淑女たる現役生徒たちに、何を伝えていくのか。現在の厚高生に求められているのは、際限なく高いものであり、残念ながら生徒個人の努力だけでは達成しえないことが多々あります。学習環境は もちろん、精神の安定も大きな課題であります。同窓諸兄のお力添えを是非お願いいたします。東日本大震災で、百周年記念室も資料室も大きな打撃を受けました。一方、戸室の丘辺に集う生徒たちは創立以来(百二十周年まであと3年)何ら変わることなく、輝く未来を求め、懸命に努力を続

最近5年間の進学状況

卒業生進路	30年 高70回	30年 高70回	29年 高69回	28年 高68回	27年 高67回
国公立大学	102	104	90	73	67
私立大学	189	183	187	196	214
短大/大学校	2	0	0	0	2
専修学校等	0	4	0	0	2
進学者数計	293	291	277	269	285
入学率	82%	82%	78%	75%	81%
卒業生総数	357	356	357	355	351

学業・部活動・人物などすべて



佐藤 裕一郎さん

「目の前のことを  
頑張る」

第51回 茅賞

けています。その一助となりますよう、本当に微力ではありますが、尽力していきたいと存じます。よろしくお願いたします。

おいて優れている卒業生1名に贈られる茅賞は、今年度佐藤裕一郎さん(3D)が受賞した。受賞の感想を尋ねると「実感がなければ、3年間目の前のことに一つひとつ取り組んできた結果でしょう」と謙虚な答えが返ってきた。2年次に進路を文系に定め、特に英語と社会に力を入れたそうだが「どんなこともちゃんとやるようにした。それが次の新たな興味につながった」と、丁寧に物事に取り組んだ3年間を振り返った。2年次にイベントユニット長を務めたことで、「失敗だらけ」だったが、仲間や先生方のおかげで無事に行事を成功させた喜びを語った。文化祭のステージのタイムテーブルが円滑に進まず困ったとき、ユニットの仲間にも助けられた経験に触れ、厚高の行事が多くの人の熱意で作られていることを痛感したという。中学以来続けてきたソフトテニス部に所属した。技術的に伸びず、自分よりうまい後輩を見て挫折感に苦しんだ時もあった。それでも続けられた原動力は、みんなと過ごして楽しかったことだったと語りつつ、「部活動だけは、もうちょっと頑張れたかな」と心残りをのぞかせた。

厚高は好きか問うと、少し考えて「来てよかったです」と佐藤さん。「この学校は面白い」と笑顔を見せた。多才な人たちの出会いのなかで、自分にはない考えや自分にはできないことを目の当たりにして刺激的だったという。友人たちのリーダーシップや頭の良さに「いいなあと嫉妬することもありました」と率直に語った。

『厚高新聞』第261号  
(31年3月1日)より

内科・循環器内科  
心療内科

**厚木ハートケア  
クリニック**

http://www.atsugi-heartcare.com

院長 循環器専門医  
伴野 富佐子(旧姓・難波)(高37回)

〒243-0203  
神奈川県厚木市下荻野1476-1 ソルローマ本厚木1F  
TEL.046-243-5533 FAX.046-243-5503

丹沢大山国定公園 七沢温泉

**元湯玉川館**

山本 淳一(高14回)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢2776  
TEL 046(248)0002

あつぎ飯山温泉

**元湯旅館**

代表取締役 石川 範義(高10回)

神奈川県厚木市飯山4916  
TEL.046-242-0008(代)  
FAX.046-241-8975  
●東京案内TEL.03-3207-0008  
●URL http://www.motouy.co.jp

母校の近況報告

進学に部活動に活躍する厚高生

校長 上前 悟

今、高校生には「自らの言葉で自分の考えを伝え、幅広く深い知識の活用による判断力・表現力」の育成が求められています。これに向けて、本校ではスーパーサイエンスハイスクールとして培った「デュエリタス」(本校での呼称)探究活動を継続し、理数教育、科学技術教育の推進及び英語によるコミュニケーション能力の育成に努めています。

2年8月を予定し、耐震工事の終了は令和3年6月頃になります。少しグラウンドが狭くなりますが、生徒達の活動にはそれほど影響はないと思います。耐震工事が終了するまで事務室を始め職員室もプレハブ校舎に移りますので、来校の際はご注意ください。

この結果、進学実績の向上のみならず、本校在学中に起業する生徒も出るなど、着実に何かに秀でた人材(とんがった)生徒も育ってきています。いよいよ新しい大入学入試が次年度から始まります。新大入試については現段階でも情報が少なく、様々な憶測が飛び交い翻弄されながらも、確実な情報を集め、生徒達が不安を抱えることがないように努めていきたいと思っています。



NHKの紅白歌合戦にも出演したダンスドリル部



全国インターハイで準優勝の女子弓道部



近年活躍が目立つ運動部

30・31年度部活動ダイジェスト

OB「いきものがかり」とNHK紅白で共演

【ダンスドリル部】 ダンドリ「IMPISH」が、昨年12月1日の全日本チアダンス選手権大会で審査委員特別賞を受賞。さらに12月31日の第69回NHK紅白歌合戦に「いきものがかり」の楽曲「じよふる」のバックダンサーとして海老名高校ダンス部とともに共演。約2年の活動休止期間を経て活動を再開する両校のOBでもある「いきものがかり」から、「支えてくれた地元の人たち、後輩たちと一緒にステージを盛り上げたい」との要望で紅白出演が実現した。

【軽音楽部】 12月2日、総文祭軽音楽コンクール決勝大会に5組が出場し、このうち「Parabolation」がグランプリを受賞、31年度の全国総文祭県代表に選ばれた。また、「Little」が準グランプリを受賞。同バンドは4月27日の「神奈川バンドシッブ決勝大会」でグランプリを獲得した。

【演劇部】 昨年10月、北相地区学校演劇発表会で最優秀賞、11月の県の発表会では北相地区代表として出場し、優秀賞を受賞した。演目は芥川龍之介の「羅生門」を現代風にアレンジし、高校生の「エゴイズム」に焦点を当てたものという。

【弓道部】 12月11日、厚木東高校で行われた全国弓道選抜大会予選会で女子弓道部員の5名が見事優勝。24日の岡山での全国大会に出場したが、初戦敗退だった。

2年生男子弓道部員3名は、県民大会兼関東大会県予選で団体3位入賞を果たし、6月7日からの関東大会に出場、ベスト16に。女子弓道部5名は、6月16日のインターハイ県予選で5位入賞。

【陸上部】

5月11、12日に行われた県のインターハイで注目の安倍立矩(あべ・りく)君が男子1500mで5位。安倍君は6月の南関東インターハイでも4位に入賞、全国大会への出場を果たした。夏の沖繩での全国インターハイ1500mでは決勝に進み、14位と健闘した。

【山岳部】

5月25、26日、山北町の畦ヶ丸で行われた関東高校登山大会予選で、男子は4位、女子は3位でそれぞれ関東大会出場を決めた。大会では制限時間内の登山やテントの設置、歩行審査や登山に必要な知識を問われるペーパーテストもあるという。

たかはし歯科
高橋 力 (高18回)
(通称 ミスタートム)
神奈川県伊勢原市桜台2-22-1 不二ビル2F
TEL 0463-94-8888
FAX 0463-94-8840

＝おかげさまで98年＝
三橋建設産業(株)
代表取締役 三橋 要(高21回)
一級建築士 一級建設施工管理技士
一級土木施工管理技士
本社/神奈川県伊勢原市田中975
事業部/神奈川県伊勢原市板戸806
TEL 0463-95-1133
FAX 0463-94-2727

～ お酒のご注文は～ (高29回)
沼酒店
ONUMA LIQUOR STORE
TEL 0463-94-3438
FAX 0463-92-3902
〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-12-14

## 平成30年度 部活動大会実績(県大会ベスト8位以上)

部活動名	受賞日	具体的名称	成績	大会レベル
ダンスドリル部	3月27日	USA School&College Nationals 2018 高校編成 Song/Pom Dance 部門	ベストインプレッション賞	全国大会
軽音楽部	4月1日	Cute Girls Live Road to NAON の YAON 2018	優勝	全国大会
軽音楽部	4月1日	Cute Girls Live Road to NAON の YAON 2018	出場	全国大会
弓道部	4月14日	神奈川県民体育大会兼国体予選会	5位	県大会
弓道部	5月4日	春季大会兼関東大会県予選会	優勝	県大会
弓道部	6月3日	第62回関東高等学校弓道大会	8位	関東大会
弓道部	6月17日	第56回県総合体育大会兼全国総体県予選会	出場	県大会
軽音楽部	6月17日	テクノス関東学校対抗バンドコンテスト	3位	関東大会
器械体操部	7月16日	平成30年度第9回神奈川県体操競技 高校生大会	7位	県大会
軽音楽部	8月1日	ガールズバンドステージコンテスト	—	関東大会
弓道部	8月5日	平成30年度全国高等学校総合体育大会第63回全国高等学校弓道大会	準優勝	全国大会
軽音楽部	8月5日	第18回神奈川県高等学校軽音楽コンテスト	準優勝	県大会
軽音楽部	8月5日	第18回神奈川県高等学校軽音楽コンテスト	奨励賞(4位)	県大会
軽音楽部	8月9日	全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK IN HITACHINAKA	—	全国大会
吹奏楽部	8月12日	第67回神奈川県吹奏楽コンクール	朝日新聞社賞(1位)	県大会
弓道部	8月19日	第13回全国高等学校選抜遠征の弓道大会	出場	全国大会
軽音楽部	8月21日	第6回全国高等学校軽音楽コンテスト	準優勝	—
弓道部	9月9日	第37回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会	出場	関東大会
吹奏楽部	9月15日	第24回関東吹奏楽コンクール	金賞	関東大会
陸上競技部	10月21日	第22回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	1位	関東大会
弓道部	11月11日	神奈川大会団体兼全国選抜大会県予選会	優勝	県大会
弓道部	12月24日	第37回全国高等学校弓道選抜大会	出場	全国大会
新聞部	2月6日	第48回全国高校新聞コンクール	奨励賞	全国大会
山岳部	5月27日	第56回神奈川県高等学校総合体育大会 第62回全国・関東高等学校登山大会神奈川県予選	優秀校	県大会
山岳部	10月19日	第62回関東高等学校登山大会	出場	関東大会
軽音楽部	11月4日	We are Sneaker Ages 関東グランプリ大会	準優勝	関東大会
演劇部	11月18日	第57回高等学校演劇発表会	優秀賞(ベスト16以上相当)	県大会
新聞部	11月22日	第68回神奈川県高等学校新聞コンクール	佳作	県大会
軽音楽部	11月24日	第8回とよさと軽音楽甲子園	出場	全国大会
ダンスドリル部	12月1日	ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2018	審査員特別賞	全国大会
軽音楽部	12月2日	平成30年度 神奈川県高等学校総合文化祭 第16回高等学校軽音楽コンクール	優勝	県大会
軽音楽部	12月2日	平成30年度 神奈川県高等学校総合文化祭 第16回高等学校軽音楽コンクール	準優勝	県大会
軽音楽部	12月2日	平成30年度 神奈川県高等学校総合文化祭	ベスト8	県大会
AIC部	12月22日	第4回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会	10位	全国大会

住友重機械工業グループ  
住重横須賀工業(株)

代表取締役社長 飯島 正明(高23回)

〒237-8555  
神奈川県横須賀市夏島町19番地  
TEL 046-869-1707  
FAX 046-869-1648神奈川県知事登録(10)12573号  
有限会社 一伸工業不動産部

代表取締役 村井 良行(高21回)

事務所 〒243-0213  
神奈川県厚木市飯山3061番地  
電話 046-250-0071  
FAX 046-247-1688  
携帯 090-3136-3358  
Mail info@issin-kogyo.com

## 株式会社 松本企画

代表取締役 松本 茂(高20回)

〒259-1114  
神奈川県伊勢原市高森2-17-6  
TEL 0463-95-8668  
FAX 0463-95-8670

支部会便り

厚木連合戸陵会

2年後に創立20周年を迎える  
令和元年度通常総会

7月28日、厚木連合戸陵会の通常総会は飯山温泉・元湯旅館に於いて、令和最初の上陸台風となった6号台風の関東直撃を受けながらも、なんとか無事に開催されました。

総会は「台風一過」の猛暑のなか、曾根秀敏同窓会長、上前悟厚木高校校長、そして甘利明衆議院議員、後藤祐一衆議院議員をはじめ他支部会長等15名に及ぶ多数の来賓をお迎えし73名の出席会員を

得て1号議案を全会一致で可決致しました。5号議案は、「連合戸陵会だより」を発行してきた広報委員会の廃止(本部広報委員会に一本化)に伴う規約改正案でした。広報委員の承諾や役員会での半年にわたる審議を経て丁寧に説明され、これまた可決承認されました。総会後の懇親会は場所を大広間に移し、恒例になったアトラクションとして本年は、椎野未花さん(高59回)のオーボエ、浦壁侑子さ



猛暑の中開催された厚木連合戸陵会通常総会

んのフルートによる「愛の挨拶」「カルメン」「大きな古時計」等の木管二重奏を楽しみ、のち近藤俊三元同窓会長(高6回)の乾杯音



アトラクションは同窓生らによる木管二重奏

頭によって懇親会に入りました。総会挨拶のなかで、伊藤修治会長(高17回)は、あらためて1年間の活動を総括し、各8支部の総会・行事の多くに出来るだけ努めて出席をしてきた感想を述べ、以前にまして各戸陵会の独自の行事

事業が多様化しながらも充実してきており、同窓会本部事業の「地引網」「校歌祭」「憶い出の杜」そして「チャリティゴルフ」以外で多くの会員が交流や親睦を深める場を身近で提供している事をたいへん嬉しく思う、と話されました。また特筆すべきこととして、荻野戸陵会の名を上げ、本年5月の総会に新たに20回生以降の会員5名が初出席した事など、きめ細かく各戸陵会への思いと期待を述べられました。又、再来年には連合戸陵会が創立20周年、3年後には母校創立120周年を迎えます。その意義と気概を持って今後は同窓会本部とともに母校支援と會員の親睦を更に一層進め「連絡調整機関」として存在価値の再認識を強調されました。

事務局長・足立一彦(高17回)

厚木連合戸陵会支部活動報告

荻野戸陵会

「鎮魂の鐘」の丹沢へ追悼登山



塔ノ岳山頂の鎮魂の鐘を打つ追悼登山者たち

秦野戸陵会創立50周年記念として企画された「丹沢追悼登山」。荻野戸陵会からは、林博(高11回)、毛利昇(高16回)の2名が参加しました。

塔ノ岳(1490・9m)山頂にある尊仏山荘の入口に風雪に耐え佇むその鐘には「生ける魂は永遠に斯界にこだません・戸陵会岳会」の文字が刻まれています。1955年1月26日、おからの吹雪で遭難した山岳部OB早川洗さん(南毛利・高3回)を追悼して建てられたものです。秦野戸陵会を中心とした山岳部

OB・他支部の17名は午前8時30分、ヤビツ峠より出発。鎮魂の鐘を打つ折雨や強風に見舞われながらも無事登頂。追悼の鐘を鳴らし、全

員で校歌を斉唱し無事に大倉へ下山しました。のち「やなぎ家」にて懇親会、登山しなかつた者も含め30名余で「老体」の健闘を讃え合いました。

厚木戸陵会

夏は恒例の納涼ビアガーデン

前回までは実施日に天気が悪化して屋内での実施になることばかりでしたが、今回は天候に恵まれ(夏は晴れるのが普通ですが)開放的な気分の中、ビールを始めとしてピンクやライトブルーのトロピカルなカクテル、ハイボールなどいろいろな種類のお酒を楽しむとともに、肉料理からデザートま

でバイキング形式の美味しい料理を楽しみながら会員同士和氣藹々と語り合いました。夕闇につつまれるころフラダンスショーやプロジェクトエクシジョンマッティングなどのアトラクションが行われ、しばし普段の厚木を忘れしヨを楽しみました。やはり屋外でのビアガーデンは屋内と比べ



ビュッフェスタイルで酒と料理を楽しむ「納涼ビアガーデン」

MIMEIDIA 代表  
さかもと 未明 (高36回)  
・漫画家  
・作家  
・評論家  
・コメンテーター  
・タレント  
・歌手  
・版画家  
・着物デザイナー  
・画家

扉座  
主宰・劇作家・演出家 横内謙介(高32回)  
俳優 岡森 諒(高32回) 俳優 六角精児(高33回)  
厚木アンタープロジェクト・ネオスタッフ第9回公演  
劇団 扉座 第55回公演  
最後の伝令 菊谷栄物語  
作・演出 横内謙介  
11月23日(土)・24日(日) 厚木市文化会館小ホール  
11月28日(木)~12月1日(日) 紀伊國屋ホール  
(問) 扉座 03-3221-0530

有限会社 ヒルカワフリーディングファーム  
代表取締役 比留川 直幸(高15回)  
〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川496-1  
自宅 TEL 0467-78-0646  
事務所 TEL 0467-77-3728  
FAX 0467-77-3810



睦合戸陵会

横浜への日帰り旅を楽しむ



恒例となった「日帰り旅」での横浜中区方面へ

ここ数年恒例となりました親睦日帰り旅行で、横浜方面に行きました。睦合戸陵会の重鎮である高

校7回卒の葉山岳夫先輩を筆頭に9名の参加となりました。本厚木駅に午前9時に集合し、まずは石川町へ。元町ショッピングストリートで土産にラムボールを買って、有名なウチキパンに寄り、港の見える丘公園まで登りま

した。鞍馬天狗で有名な「大佛次郎記念館」に入りましたが、大佛次郎さんは東大法学部出身で葉山さんの大先輩ということがわかりました。中華街まで下りて、予約してあった「招福楼」の個室で昼食をとり、次は山下公園に。ここで予約してあった「マリーンルージュ」に約1時間乗船。快晴の天気でもとても優雅なひと時でした。ここまできなりました。皆さん健脚でさらに桜木町駅まで徒歩で行き、最後の目的地町田ま

南毛利戸陵会

好天下、ハイレベルの闘い



南毛利戸陵会のゴルフコンペ(第8回より)

で横浜線に乗車。馬肉で有名な「柿島屋」を予約してありましたので、午後5時から馬刺しとさくら鍋を

つまみに梅割りで乾杯し宴会を催した後、本厚木まで帰還した親睦日帰り旅行でした。

ゴルフコンペも今年で16回目を迎えました。梅雨のさなか天候が心配されたのですが、当日は、前日の荒天とは打って変わって絶好のゴルフ日和の中、果敢なプレーが展開され

ました。もともと同窓会のコンペで優勝者を輩出したり、昨年の大会ではホールインワンを達成する参加者もあり、我が南毛利戸陵会のゴルフコンペはレベルの高い大会ではありますが、そこは同窓生です。和気藹々の中、プレーを楽しんで無事ホールアウトしました。

玉川・森の里戸陵会

平成31年度支部総会報告

平成最後の4月27日(土)、七沢温泉「元湯玉川館」に厚木高校同窓会曾根会長、厚木連合戸陵会伊藤会長代行、12名の会員の出席を得て定例総会並びに懇親会を開催しました。

現役高校生が頑張っている状況や戸陵会の支部組織のネットワークの充実とそれに伴う会員同士の情報交換などが盛んに行われるなど同窓会の意義などについてお話がありました。

曾根会長からは、地域の特徴を取り上げた研修会を開催するなど特色ある支部活動を展開していることにお褒めの言葉をいただきました。また、伊藤会長代行からは

総会は、議事として(1)平成30年度事業報告(2)平成30年度会計報告(3)平成31年度(令和元年度)事業計画(案)について審議されました。どの議事も疑義は無く事務局提案どおり承認可決されました。



苦勞して登らないスタイルの「ハイキング」

昨年「高尾山ハイキング」に懲りず、本年は東京青梅の御岳山に登ってきました。今回も尾根ま

でケーブルカーで行き、そこから歩きました。依知戸陵会の企画ということで、依知戸陵会役員の皆さんに案内を出しましたが、前日までの荒天もあり参加者は4名と半減しました。5月29日水曜日、夜来の雨も朝には上がり、幸運なことには曇りという絶好の登山日和でした。ハイキングの行程は往復で4時間程度でしたが起伏も少なくごく初心者向きというコースだったので、大変楽しく歩くことが出来ました。

高尾に続き今年も御岳山へ

依知戸陵会

帰りには日ノ出町「つるつる温泉」に寄って、もちろんビールを飲んで帰りました。今回は山梨の「大菩薩峠」「ミツ峠」方面を計画しています。

ハイキングの目的は、あくまで親睦、苦勞して山に登ることでない！山の選定条件は楽な上りの手段があること(ロープウェイ・ケーブルカーなど)。ビールが飲めることはもちろん、温泉付きであることが、依知のスタンダード！(エチルルールより)



地元七沢温泉「元湯玉川館」での通常総会

今年度の秋の研修会として、七沢にある神奈川リハビリテーションセンター(介護支援装置や介護ロボットの開発など)に予定している。総会後は、地元のサカリマスに舌鼓をうちながら美味しい料理を味わい、会員相互の懇親を深めることができました。

広報委員・三橋敬司(高18回)

Advertisement for Show Dental Hospital (ショー歯科医院) featuring Dr. Shinno (院長 歯科医師 新野見 昇一).

Advertisement for Umi Konomi Tax Accountant Office (浦 恭子税理士事務所) with contact information for Umi Konomi (所長 浦 恭子).

Advertisement for KUMON (公文書写南町田鶴間六丁目教室) for calligraphy lessons.

関西戸陵会

記念すべき第10回総会



創立10年を迎えた近畿2府4県を対象の関西戸陵会総会

幹事・福本 豊(高28回)

開催日…令和元年6月9日

会場…ホテルグランヴィア大阪

参加同窓生数…22名

近畿2府4県を対象として設立した関西戸陵会も設立後、今年で10年が経ち、毎年開催してきた同窓会は記念すべき第10回を迎えることができました。振り返って第1回から今回第10回まで毎回同窓会にご出席いただくとともに温かいご指導・ご支援をいただいた同窓会本部各位に対しこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

第10回同窓会は会員が高2回、3回の大先輩から高39回、40回の現役世代まで男女合わせて22名出席し、来賓として同窓会本部から

ご出席の曾根会長、石塚事務局長、上前学校長を合わせて25名出席による話題の尽きない有意義な2時間半に及ぶ総会・懇親会となりました。

会の進行は毎回PC・プロジェクトター・スクリーンを使うことで、自己紹介や話のポイントが出席者全員に伝わり易いよう色々工夫を

しています。今回その機器があったことで、上前校長がPCに取り入れていた厚高の大変革した授業中の映像や留学生&外国人教師の映像、廊下や職員室の前に机を並べて自習する映像などが紹介され、母校の活躍・発展の様子に歓声と拍手で大いに湧きました。

関西戸陵会は現役世代が多いため転勤者が毎年出ます。今年も2名が転勤となりましたが、転勤先からも都合つけて駆けつけてくれるのは、関西戸陵会の世話役冥利と思っております。



伊勢原戸陵会

私と戸陵会

会長 廣木 秀幸(高19回)

昭和48年頃、今は無い松屋で行われた「白風呂敷と小倉敷を懐かしむ会」に小澤久夫君と参加したのが、関わりの最初でした。

この頃は、小泉昌一さんや大津慶治さんがまだ受付をしていた時代でした。その後、近藤俊二さんの教え子を中心とした同窓生が多数参加し、名前も「伊勢原戸陵会」と変更。同窓生が多く出席ができるよう、案内名簿を本部の同窓会名簿から伊勢原在住の400名ぐらいの名簿を作成し、総会の案内

100名程度の参加を得ていました。毎回、同窓生による講演と新入生を招いていた。講演は現在も行ってはいますが、新入生については、個人情報保護法により、特定が難しくなり現在は行っていません。参加者も高齢化が進み半数程度になりました。

戸陵会本部との関わりは、100周年記念式典の手伝いを伊勢原戸陵会として参加してからです。このときは、伊勢原戸陵会として中学卒業の先輩方が「白風呂敷と

小倉敷」を身にまとい、下駄履きで高校の正門前の坂を上り、学校へ入っていました。この様な参加支部はありませんでした。110周年記念式典の時は事務責任者でしたが、途中で病気になる、伊藤修治さんには大変迷惑をかけてしまいました。

校歌歌のお手伝いは、第4回の厚木高校が主管の時、小島富司さんの助手として初めて参加させていただきました。その後6年間副会長として小島富司さんの後を引き継ぎ、校歌歌の活動をしてきました。

同窓会活動でただ1つ心残りは、昨年なくなられた杉田泰繁さんを会長にすることが出来なかったことです。同窓会活動に多大な貢献をされていたから残念です。

綾瀬戸陵会

襷に思いを繋いで



県高校駅伝に毎回祖父と応援に行くのが楽しかった

武藤 龍太郎(高60回)

私は祖父(高4回、實)、父(高30回、俊宏)と武藤家長男が3代続けて厚木高校卒業であり、祖父とは同じ陸上部で長距離をやっていました。

毎年11月に丹沢湖で行われる、県の高校駅伝では祖父と一緒に応援に行っています。祖父は厚木高校陸上部が大好きで、当時の出来事や陸上部のためにやってきたことをいつも楽しそうに話してくれました。祖父は高校を卒業してから70年弱経ちますが、その間もほとんど毎年のように応援に行っています。そのため、私が高校生の頃も祖父はOBの方々と応援に来ており、当時、思春期だった私は、OBの方々に「武藤の孫か」と言われるのが恥ずかしかった記憶があります。しかし、今では祖父と一緒に応援に行くことが非常に楽しくみであり、駅伝の時期が近づくと、何時に出発して、どの辺りで応援しようかと予定を立てておられます。また、ここ最近では、特に応援に熱が入っており、文化祭で買った厚高タオルや野球部の応援うちわを持って、現役生を応援しています。現役生が一生懸命走り、

仲間へ襷をつなぎ、ゴールを目指している姿を見ると、昔を思い出して、胸が熱くなり、自分もあの頃に帰ってまた走りたいたいと思うと同時に、もっと頑張らなければいけないなと思います。

また、こうして駅伝を見ていると、厚木高校の伝統も襷のように次の世代につながっているのではないかと思います。私自身も、祖父や父を含めた先輩方が築きあげてきた厚木高校の伝統や思いという襷を受け取り、それを今度は私が後輩たちへ繋いでいくように頑張らなければならぬと思います。県の高校駅伝はいつも自分の原点を思い出させてくれる場所だと思っております。

湘南台 SHONANDAI Neurosurgery Clinic 脳神経外科クリニック 院長 落合 周太郎(高36回) 脳神経外科・内科 https://shonandai-neuro.jp TEL.0466-45-5500 〒252-0804 藤沢市湘南台 2-7-15 東急ドエルアルス湘南台アネックス1F

みひらクリニック 〒242-0023 大和市渋谷4-8-4スカイステーション101 TEL 046-201-2220 FAX 046-201-2221 院長 三平 将彦(高36回)

七輪炭火焼肉 味ん味ん これからも皆様の期待に 応えられるよう努力していきます 株式会社味ん味ん 代表取締役 三上 賢通(高36回)

座間戸陵会

第31回支部総会開かれる

平成30年6月17日座間神社「すいめい」で第31回座間戸陵会総会(山本愈会長・高26回)が開催されました。

大塚秀光教頭、落合重治同窓会副会長のご来臨を賜り、ご挨拶並びに近況等についてご報告をいただきました。

議事は肅々と執り行われましたが、今回役員改選が行われ山本愈会長が退任され顧問に就任されました。後任に大矢正次会長(高14回)、瀬戸一考副会長兼幹事長(高17回)とする新役員体制が満場一致で承認されました。山本愈氏の



31回の歴史と参加数を誇る座間戸陵会の総会

葛貫 裕子(高28回)

ご苦労に対し、会員一同より御礼と感謝の気持ちをこめて記念品が贈られました。

総会後の記念講演は、俳句雑誌『阿夫利嶺』の主筆であります山本つばみ先生に「俳句よもやまばなし」という演題でご講演賜りました。

山本つばみ先生は昭和7年厚木市依知で生まれました。厚木東高校在学中に八幡城太郎氏を知り、昭和28年『青芝』創刊時より同人として参加されました。城太郎没後『青芝』作品の選を担当されておりました。平成9年俳誌『阿夫利嶺』を創刊主宰し、現在日本文芸家協会会員、俳人協会会員、横浜俳話会幹事として活躍されています。著書も多数あり、平成20年『依知』にて第11回横浜俳話会大賞を受賞されました。

平成27年に『阿夫利嶺』創刊20周年記念大会と合わせて町田にあります青龍寺の境内にて山本つばみ先生の代表作の句碑建立式典が各界の皆様立会いの下挙行されました。さて山本つばみ先生は4年間ほぼ厚木高校の事務職員として勤務されたご経験をお持ちです。その後国立相模原病院に勤務されそこで仲間を集めて『阿夫利嶺』立ち上げの活動が始まったと伺っております。またご主人は一昨年他界されましたが、厚木高校の国語教師をされておりました山本邦夫先生です。国文学者として近代文学か

らひとときわ源氏物語の研究には造詣が深く『阿夫利嶺』に成果の一端を連載されておりました。厚木高校との縁の深い山本つばみ先生のご冥途を祈ります。

津久井戸陵会

厚高寮歌に寄せて

門倉 英夫(高4回)

厚高寮歌?厚高に寮などあったの?母校の寮は、昭和25年ごろ廃止されたので、80歳未満の方はほとんどご存知ないだろうが、私が旧制中学校最後の入学生となった昭和21年当時、校庭の片隅に「好学寮」があり、主に旧津久井郡からの通学困難生の寄宿舎として存在した。

寮生は1年生から4年生まで15人ほどで、ここには先輩から後輩へと引き継がれてきたいくつかの伝統があり、その中の一つに寮歌があった。口伝であるから楽譜など記録はなく、このままだといずれ消滅する恐れがあった。そこで当時の寮生数人に手紙や電話で問い合わせさせて歌詞を復元し、音を

拾って楽譜を作りDVDを作った。こうして厚高寮歌がかかるうじて息を吹き返したのである。開校110周年記念ゴルフコンペのパーティーで皆さんに披露する機会を得たが、現在は、津久井戸陵会の諸兄弟によって細々と歌い継がれている。津久井戸陵会としては、何となくして後世に残したいの思いから、寮歌存続の活動を続けており、大勢の生徒、卒業生に歌われることを願っている。この歌が母校の生徒に愛唱され、スポーツの応援や校歌祭などで歌われる様になれば、幻の寮歌が完全復活することになると思うのだが、如何?

愛川戸陵会

我々の時代の先生は「良かった」

佐藤 茂(高24回)

私は高校時代野球部に所属しておりました。高校野球は新年が明けるとシーズンが始まります。毎週日曜日は練習、対外試合に明け暮れ、それが夏の甲子園神奈川大会まで続きます。神奈川予選が終了すると、夏休み後半からは秋の関東大会に向けて、再び野球漬けの毎日が始まります。

3泊目の宮崎での出来事なのですが、夕方の散歩時、誰からか「今晚は酒を飲もう」との事で、飲んだこともないのにOKをしてビールを外で買い、夕飯後にどこかの部屋に集まったところ、そこにはもう何人かいて、10人以上でひと時を過ごしていました。そこに見回りの宮田先生が突然入ってきて、その瞬間そこにいた皆は、戸の隙間から逃げ出していました。私一人がそこに残ってしまいました。先生が、「佐藤、今のやつら呼んで来い」と言われ、私は「出てこれる人は出てきて、都合が悪い人はいいよ」という事で、出てき

野球の思いは、数々あるところですが、高校生活全体を振り返った時、お世話になりました先生方の個性が思い出されます。当時の私達の修学旅行は、九州一周でした。8クラスある中で、1日ずれの4クラスで出発しまし

た。7~8人で廊下に並び、藤井先生の「お前ら駄目だろう!一発で済ますからな!」の一言で「すみませんでした。お願いします!」と罰を受けました。これで終わりと部屋に戻った所、担任の小泉先生がそれを聞きつけ、「教師のそれはダメだ!」とクラスの生徒当事者を呼び「俺を殴れ!」と言いつつ、「自分達が悪いので勘弁してください!」と言つても、いつまでも納得してもらえず、仕方なく人差し指で先生の頬をチョンと触れ、皆も続いて行い、やつとその場がおさまりました。その時の先生方の役目、又、後に引き摺らない対応には、今でも感謝し、つくづく良い時代だったなあと思っ

ている所でもあります。他にも先生方の指導に良き思い出も数々ありますが、今回はこの程度とさせていただきます。

経産省選定 地域未来牽引企業 アイフォーコム IFORCOM 代表取締役 加川 広志(高25回・津久井戸陵会)

「おかげさまで52周年」 珍満 成火七輪 ホルモン 菊地 努(高45回) 営業時間 16:00~24:00 店休日 年末年始 住所 〒242-0006 大和市南林間2-10-9 電話 046-275-0590

OPERA LAND コンサートプロデュース・CD制作 音楽教室・レンタルレッスンスタジオ Facebook直リンク公演情報 森口 賢二(高44回) http://operaland.ciao.jp/ info@operaland.ciao.jp 住所: 〒186-0002 国立市東1-3-15 国立ダイカンプラザ103

相模原戸陵会

創立30周年を祝う

相模原戸陵会は昨年支部創立30周年を迎え、好天に恵まれた平成30年5月19日、中央区にある相模原市民会館「あじさいの間」で、祝30周年の記念大会として記念事業を柱とする定期総会を開催しました。当日はご来賓として加山俊夫相模原市長、曾根秀敏厚木高校同窓会会長、中垣匡厚木高校校長をお迎えし、41名の同窓生が参加されました。



平成と共に歩んだ創立30周年の相模原戸陵会

大きさに役員一同身の引き締まる思いがしています。また中垣校長からは、最近の厚木高校での充実した教育内容の報告がありました。後輩たちが頑張っている様子をお聞きするのは気持ちがいいものです。総会案件については全て総員賛成で可決されました。

始めに金子輝司相模原戸陵会会長が挨拶し、30周年記念を迎え、ご来賓はじめ参加いただいた同窓生への感謝の気持ちを述べました。加山市長からは、相模原地域の経済、教育文化、福祉医療など多くの分野で、厚木高校同窓生がオビニオンリーダーとして活躍していることに敬意を表するということ、祝辞を頂きました。曾根会長の挨拶では、相模原支部への期待の

平塚戸陵会

「いざ国進めん」は人生の応援歌

石黒 順一 (高23回)

の近況報告などで盛り上がり、また初参加の方には自己紹介をしてもらい賑やかな交流が続きました。最後に応援団OBの飯田政孝(高20回)さんの指揮で校歌を斉唱して解散となりました。

生の参加がますます期待されます。今年の令和改元の時を迎えて新たな気持ちでの発展を願ひ、普段からの会員相互のコミュニケーションを心掛けつつ、厚木高校で鍛えられた文武両道と質実剛健の伝統を語り継いでいきたいものだと思っています。

私が厚木高校に入学したのは昭和43年4月。最初に驚かされたのは、昼休みに屋上で行われる応援練習でした。指導する応援団員の姿勢と威勢がいいことはもちろん何しろ威張っていてみんまで正座をさせられたこともありましたが、ただ、そのうち応援練習はこんなものかと慣れてしまいました。慣れなかつたのは校歌の歌詞。小・中学校の校歌は、みんな仲良く元氣よく育つていくといった感じでしたが、厚木高校の校歌は全く違っていました。それでも一番は、高校野球の甲子園で流れる様々な校歌とさほど違いません。しかし、驚かされたのは二番と三番。「いざ国進めん」とか「御国のために」とか。まだ「国」ということをし

の仕事を担当しました。その時、ふいに厚木高校の校歌の二番と三番を思い出したので。地方分権の議論は、国と地方の関係を根本から変え、国の活力を生み出すとういうことです。理想を理念に、理念を制度に組み立てていく仕事です。国の、新しい形を作り動かしていくという秀閉気がこの仕事にはありました。私は県の立場でしたが、この仕事に取り組み中で、自分は何のために仕事をしているのか、生きていくのかというのを改めて考えさせられました。その中で厚木高校の校歌が頭に浮かんだのです。それ以来仕事が大変な時には厚木高校の校歌を思い出して自分を励ますようになりました。まさに人生の応援歌といった感じでしょうか。

平塚戸陵会総会報告

開催日 令和元年5月26日  
会場 II グランドホテル  
神奈川平塚参加同窓生数 25名  
落合会長の挨拶の後、議事に移り、「平成30年度事業報告、収支報告」令和元年度事業計画、収支予算」が承認されました。

その後、主催者側として、石黒順一平塚市副市長(高23回)から平塚市の状況について報告などがありました。懇親会では、出席者全員が自己紹介や近況報告などをされ楽しい時間となりました。

関与先のご発展に貢献する事務所を目指します。  
**安藤雄一郎税理士事務所**  
〒252-0253  
相模原市中央区南橋本2-4-16 アブレ南橋本駅前204号  
TEL : 042-779-3309  
FAX : 042-779-3359  
営業顧問 安藤 和次郎(高9回)  
連絡先 : 090-7006-3518

**(有)神奈川部品**  
金属樹脂等の機械加工部品取扱い商社  
代表取締役 錦 泰郎(高9回)  
〒252-0243  
神奈川相模原市中央区上溝7-18-3  
Tel:042-762-2501 / Fax:042-762-0298  
本 社  
〒370-0007  
群馬県高崎市問屋町西1丁目7-1アーバンK.F102  
高崎営業所 Tel:027-395-4081 / Fax:027-395-4083

北相模総守護社  
**龜ヶ池八幡宮**  
宮司 根岸 信行 (高9回)  
神奈川相模原市中央区上溝 1678  
☎042-751-1138  
http://www.kamegaike.jp/

藤沢戸陵会

厚木中学校剣道部での思い出

長谷川 英夫(高37回)



年を重ね歩行困難になり、何となく昔の事が懐かしく思い出され、家の者に車で中学校(現厚木高校)

に通った道走ってもらったが昔の面影はなく、様変わりし驚くと共にいろいろと思ひ出した。先づ一番にお世話になった小学校、中学校の諸先生の事である。

特に中学入試を控えた6年担任の金子先生である。夜遅くまで直室で入試希望者数人に特別授業をして下さった事である。中学では特に剣道部の小野先生である。

自転車をやつと漕げる様な子供が藤沢(用田)から厚木まで通えたのも先輩諸兄が親切で、共に登校して面倒を見て下さったお陰だ

睦合戸陵会

ラインには嬉しい絵文字が!

夏の高校野球神奈川県大会、今年は一戦から応援に馳せ参じております。この時には現役時代の昼食時応援団の先輩から教えていただいた校歌、応援歌を大声で歌い懐かしい高校時代に帰る事が出来るのです。そして、スマホ片手に実況中継のラインを送ります、送りますは厚木高校26回ゴルフコンペライングループ25名のメンバー宛です。

メンバーの中には野球部OBが3名入っているのが実況中継する方も大変で、試合を見ながらラインを打ち込んで返信が来たら対応するので、頭の中は試合どころじ

やない。しかし厚木高校が勝ったときにはうれし絵文字が送られてきて充実感を味わえる瞬間です。現役野球部の後輩たちには厚木高校の卒業生である事を実感させていただけると感謝しています。

卒業して45年が過ぎました。同期には定年退職組や嘱託として元気に働く友もいます。8年前に初めて開催した同期会でゴルフ好きが集まり今では1年に3回、春、夏、秋にゴルフコンペを開催するようになりました。

開催に当たった幹事を紅一点の安藤康恵さんと中山和男君が務めてくれています。参加者は多い時には6組となる事もあり、45年ぶりに再会する懐かしい顔を見る

と思う。学校にも馴れ、友達も増えた翌年1月からは剣道の寒稽古である朝4時頃から父が共に自転車で杉久保の坂の上まで送ってくれた。杉久保の坂の上から相模線の社家駅方面の灯りが印象に残っている。剣道場では滑り止めの為にヤカーでお湯を直線状に拭くのであるが、すぐに凍る様な寒さだ。稽古が6時頃から始まり、体が温かくなつた頃に終わり、その後大きな火鉢で餅を焼いて食べるのが楽しみだった。中学3年まで父が送ってくれて、感謝している。

5年間寒稽古に休みなく通った。剣道部で指導を受けたお陰で二段の免許をもらった。5年の時の寒稽古の終わりの日に、藁で巻いた竹を小野先生が試し切りをされ、



同期会(高26回)を兼ねたゴルフコンペを年3回実施

事も出来るのです。同じクラスでなくても顔だけは見たことある友初めて話す友、しかしすぐに懐かしい高校時代を共有できる数時間です。

広報委員・吉川 昭(高26回)

相川戸陵会

相川の半世紀を振り返って

相川公民館長、二見政宏氏(高16回)に聞く

その刀の切れ味におどろいていたら、先生から森君と私が指名され、「これで剣道型三本を行え」のことがあり、二人で驚くと共に顔を見合わせてやるしかないこと決めて、どうにかその責任を果たしたことを思い出した。時代的に銃剣術の指導も受け、お陰で初段をもらっ

た。戦争も厳しさを増した昭和19年に入隊したが、訓練の中で剣道と銃剣術が大変役に立ったのである。外地には行かず、終戦後は警備の業務を経験し、復員し現在まで元気で過ごして来た。中学校時代の思い出の一部を記しました。

厚木市酒井にお住まいで現相川公民館長の二見政宏氏に、幼少の頃からの地区の変遷や学校時代の思い出話をうかがった。

昭和30年までの幼少の頃は、中郡相川村。相模川や玉川が運んだ肥沃な地域には、豊かな田園が広がっていたという。

相模川の川原、用水路などで、ハゼ・ウナギ・ナマス・ザリガニなどを捕って遊んだ。相模川の水上交通は残っていたが、高度経済成長期の建設のために必要な砂利の採取が盛んだった。砂利船の穴は蟻地獄のように危険だとよく注意された。

学校までの通学路、バス通りは砂利道。夏はホタルが乱舞し、部屋の中にも飛んできた。

小・中学校は、運動場を共有し、運動会は合同で行った。田植え時期や稲の刈り取り時期の農繁期になると、授業は半日で終了。多くの子どもは家の農作業を手伝った。

昭和30年代は、人の暮らしが大きく変化した時代。有線電話、有線放送から普通の電話機へ。白黒テレビでも高価だったため、近所でテレビのある家に集まって見せていた。

牛が田畑を耕耘し、米や麦を主体にした農業だったが、耕耘機が普及し、やがて車時代となり、畜産が広まり、果樹・花・野菜・イチゴなど、多様な作物が作られるようになり、人の暮らしも豊かになっていった。

相川地区が大きく変わったきっかけは、国道129号、東名高速道路のインターチェンジ、小田原厚木道路の開通など、交通事情の変化だったと思う。下駄を履いて高校へ自転車で通った田んぼの中の農道が消えた。本厚木駅周辺を通ってくる用水路には蓋がされ、田園風景も消えた。

第二東名の厚木南インターもでき、相川地区は、流通の基地となり、各種産業のベースとして発展しつつある。

そういう中で、人と人とのつながりがだんだん薄くなる傾向にあるのが心配である。祭典・どんど焼き・子ども神輿などの地域活動や地域行事を伝承しながら、ふるさと意識を盛り立てていってほしいと願うこの頃である。

Advertisement for (有)中津ミート, featuring a logo and contact information for a meat shop in Enryu-cho, Atsugi City.

Advertisement for 山一グループ (株)山一燃糸, featuring a logo and contact information for a company in Enryu-cho, Atsugi City.

Advertisement for 山一グループ (株)パイオニアハウジング, featuring a logo and contact information for a housing company in Atsugi City.

小鮎戸陵会

絵師・井上五川についての研修会

頼住 道夫(高22回)

今年も恒例の小鮎戸陵会研修会を、3月24日、厚木飯山温泉「元湯旅館」にて実施しました。

参加は、厚木戸陵会会長 曾根秀敏氏(高14回)や厚木連合戸陵会会長代行 伊藤修治氏(高17回)、本禅寺住職の齋藤静雄氏(高20回)を始め、多数の来賓のご臨席をいただき、参加18名で実施しました。



講師の小島富司氏(高18回)

今回のテーマは「宝松山本禅寺と絵師井上五川について」と題し、講師に小島富司氏(高18回)・七沢希望の丘初等学校理事長)を迎えました。

講演の概要は次のとおりです。井上五川は、寛政8年(1791年)(厚木市)上狹野宇打越(おっこし)に生まれ、幼名を定八とい、打越の五川さん」と通称されている。雅号の五川は、厚木愛甲郡内を流れる相模川・中津川・狹野川・小鮎川・玉川の五つの河川に因んで名づけたもの。明治8年(1875)10月22日に没するまで85歳の長寿であった。

五川は画の落款に好んで「偶言五川」と用い、偶然のようにふとできる、思いがけなくできるという意味の雅号を持つ。また、地域に残る五川の作品には「偶言五川」に併せて年齢を書き記しており、そこから晩年の精力的な創作も伺われる。五川の作品は、飯山の本禅寺に、修復された100枚もの見事な天井絵があり、色鮮やかな花や鳥などに混じって、龍の絵は、実に躍動感に溢れている。

また、市内寺社のあちこちに絵馬や板戸絵、格天井の龍図や花鳥風月図、中国故事からの人物画等、数多く現存している。五川の作品群の昇龍図や降龍図には、幕末期から明治維新期にかけて風雲急を告げる時代背景の中で、江戸から程近い相模の片田舎の地厚木において、民衆の中に生きた地域の絵師「井上五川」という特筆すべき点をあげることができる。



狹野生まれの絵師・井上五川が描いた本禅寺の天井絵

それは、「井上五川とその門弟」(厚木市文化財調査報告書第十七集)において、五川の師、「法眼五流」は狩野派の名のある絵師であったが、五川とその門弟は、都会の江戸より遠く離れた僻村の厚木において、唯絵筆に親しむ趣味に生きた人々であった。



700年前の海底を物語る貝化石「カネハラニシキ」

私は、昭和17年に狹野に生まれ、昭和35年に厚木高校を卒業しました。勉強もがんばりましたが、その頃、興味があった「歴史研究部」に入部して、あの有名な名物教師の大畑先生のもと「自由民権運動の研究・調査」のお手伝いをして、

五川の作品から、正統狩野派の筆致の外に他の画家のものを模写したものも多く見られる。門弟の中には俳画、地口行灯画、風絵なども描いている。なお、農村の人たちの楽しみとした講中の祭りについて、きめ細かに補足説明をしてきた当時の人々に潤いを与えて

秋の研修会報告

玉川・森の里戸陵会では、毎年秋の研修会を開催しています。昨年は、玉川地区内の七沢石についてをテーマに、平成30年11月18日、廣沢寺温泉「玉翠楼」で開催。玉川・森の里戸陵会会員と、曾根同窓会会長、伊藤厚木連合戸陵会会長代行ほか、多くのご来賓にも参加していただき盛大に開催できました。

「憶い出の杜」は、海底であった!

田中 昭一(高12回)

玉川・森の里戸陵会では、毎年秋の研修会を開催しています。昨年は、玉川地区内の七沢石についてをテーマに、平成30年11月18日、廣沢寺温泉「玉翠楼」で開催。玉川・森の里戸陵会会員と、曾根同窓会会長、伊藤厚木連合戸陵会会長代行ほか、多くのご来賓にも参加していただき盛大に開催できました。

私は、昭和17年に狹野に生まれ、昭和35年に厚木高校を卒業しました。勉強もがんばりましたが、その頃、興味があった「歴史研究部」に入部して、あの有名な名物教師の大畑先生のもと「自由民権運動の研究・調査」のお手伝いをして、



他支部からの参加もあり毎回好評の研修会

今、定年後20年たち、その間4年間「上狹野分館長」という仕事を皆様のご協力のおかげで続けさせていただきました。その時に、ここ狹野地域の歴史を全く知らない我が身に気がつき、昔、狹野川で貝化石を拾い集め、齋尾山麓では土器のかけらを見つけて仲間と日が暮れるまで遊んだことを思い出しました。

「同窓会林・戸陵健児が憶い出の杜」のモニュメントがあります。それを横目で見ながら半原峠に向かうと、峠に「法華林道」(厚木市有林・西山共有林の林道)があり林道の間から、約700万年前の二枚貝の化石が露出している場所があります。

これからの「狹野地域の歴史を宝物として調査・研究」し、若い世代に伝えていくことを仲間と共に進めたいと思っています。

この化石を含む地層は1000万年以上前に火山島や海底火山の噴火がもとになった火山礫や火山灰が堆積したもので、愛川層群と呼ばれています。約700万年前に丹沢と伊豆は、フィリピン海プレートが日本に衝突し、海が変じて山となる大変動がおこり現在の陸地化につながり山となりました。このことが「狹野の大地誕生は、海の底であった痕跡」だろうと思われる。

した。研修会終了後は懇親会も開かれ、旨い酒と肴で楽しい一時を過ごしました。研修会は、「ストーンとおちる七沢石の話」という題で、広報委員の私がパソコンを使ってプレゼンをしました。

ha i)で、約1400から1000万年前に生息していたヤタガイ科の仲間、寒流域の海底に生息し、当時は今より寒冷な気候だったことを物語るものです。

「七沢石」の歴史。(4)「七沢石」のルーツ。(5)なぜ高遠の石工が七沢に? (6)もう一つの「七沢石」といった項目で、今まで調査研究してきたことをもとにたくさん写真を使い説明。特に、もう一つの「七沢石」ということでは、「勾玉」の原料石として使われた東丹沢の緑石(セラ

さくら戸陵会

第6回総会を開催

第6回さくら戸陵会総会を10月14日開催いたしました。



土屋侯保元大和市長(高16回)の講演も

長田靖子(高33回)

当日同窓会本部からは、曾根会長、落合副会長、志村事務局長、学校からは中垣校長をお迎えし、また講師は、元大和市長土屋侯保さん(高16回)をお招きし、演題「西郷隆盛と坂本竜馬―その人物を考察する」について、講演して頂きました。高16回OBの方々も応援に来てくださった中、土屋さんは、西郷隆盛、坂本竜馬等のエピソードなどを熱く語られ、参加された方々は、時の経つのも忘れて聴き入っていました。

講演が終わった後に、歩いてすぐのホテルのレストランに場所を移し、ビュッフェ形式のランチとなり、皆さん思い思い、おしゃべりしながら、ランチを楽しんで頂き、盛会のうちに閉会となりました。

OB会/同期会便り

厚木高校サッカー部報告

サッカー部OB・松下 博俊(高33回)

厚木高校サッカー部では、毎年夏休み後半から北相大会の新人戦が始まり、この時期に1・2年の新チームが結成されます。2012年から、その練習の初日に、厚高サッカー部OBである高橋正紀氏(高33回)を講師に招いて、「スポーツマンのころ」の講義、午後からは高橋氏による現役部員に対して技術指導ならびに、現役部員対OBのゲームを楽しんでいます。

高橋氏は、厚木高校卒業後、筑波大学大学院を修了し、現在岐阜



現役対OBの交流ゲームで盛り上げる厚高サッカー部

協立大学(2019年3月までは岐阜経済大学)教授・副学長、サッカー部総監督JFA・A級コーチ、Jリーグマツチコミッションを務めております。1996年にはドイツ・ケルンスポーツ大学への留学経験があります。「スポーツマンのころ」は、高橋氏がドイツ留学時に感じたことをまとめ、本当にスポーツを楽しむためにはどうすればいいのかということを解説したものです。

サッカーというスポーツを通して、現役部員に精神的に成熟してもらい、強い厚高サッカー部を目指すということが目的です。サッカー部OBが中心となって、この取り組みを実施しています。この甲斐あって、厚高サッカー部は2017年度には全国高校サッカー選手権大会・神奈川県予選2次予選に進出することができ、1回戦を突破しました。

現役サッカー部員対OBのゲームでは、スクラッチで戦うとOBは現役部員には全く歯が立たません。「現役部員は利き足を使ったら反則」、「OBは必ず風上のエンドを取る」というハンディ戦で、やつと互角の戦いになり、OBは久しぶりの母校でのサッカーを楽しんでいます。夜の部は、昨年から東名厚木健康センターで開催しています。お風呂でサッカーの汗を流した後、親睦を深める大宴会となります。

高28回同期会 名取裕子さんの再会宣言も

高28回卒の同期会は、ワールドカップイヤーに開催しています。今回も初参加者14名を含め、123名が集まり盛会のうちに開催することができました。



名取裕子さんも毎回出席

先生にも、お元気な姿でご出席いただき、有意義なお言葉?を頂戴し、宴会に華を添えていただきました。校歌斉唱では、応援団の阿部君、五十嵐君の指揮によって、3番まで斉唱し、多くの参加者が翌日(翌々日)に体力の衰えを実感したものと推察いたします。中締めのおいさつは、定番の名取さんが壇上から「次回、2022年カタル大会で会いましょう!」とユーモアを交えながら、4年後の再会を高らかに宣言し閉会となりました。今回は同窓会並びに母校発展のために、当日出席の参加費の中から、26万1千円を同窓会に寄付させていただきました。

石塚修(高28回)

高17回C組

4年振りのクラス会 大盛り上がり

昨年72歳を迎えた我が高17回C組クラス会が、冬季五輪開催年(平成30年)の11月9日に厚木の



4年ごと開かれる高17回のクラス会

当日は恩師の高橋先生にも御参加いただきました。相変わらず若々しく、どちらが生徒か先生か?見間違えるほどで、それだけ私たちも年を重ねてきたようです。また、久しぶりの参加の人や遠路仙台からも2人が駆けつけていただき、21人の参加となりました。しかしながら今回は、毎回参加をしてくれていました額賀(小島)憲生君(習志野市・1月8日逝去)と水島慎次君(山口県光市・7月14日逝去)が帰らぬ人となってしまいました。「残念」他の参加者は皆元気でした。今回も当日配布の資料の中には、欠席者からのメッセージ(13人分の近況等)を載せるなどの工夫も凝らしました。そして、会を始める前に、全員で記念写真をパチリ!また、開会

前には平成29年9月に厚木市文化会館で行われた「第12回青春かながわ校歌祭」のビデオ放映を行いました。会では、私が司会進行し、冒頭に物故者へ黙とうを捧げ、次に同窓会副会長の伊藤修治君のあいさつ、恩師の高橋先生からお言葉をいただいた後、山口健一君の乾杯の音頭で歓談に入りました。卒業以来、初めて参加した人や久しぶりの人などとの楽しい交流の輪があらこちらで出来、旧友とのふれあいを深めると共に、宴席の中では、「高校時代の懐かしい思い出」「子や孫のこと」「今の健康」のことなどの1分間スピーチで和気あいあいに楽しい雰囲気の中で、3時間があっという間に過ぎ、大変楽しい会になりました(神奈川県新聞の我ら同窓生に掲載)。 足立一彦(高17回)

同窓会本部役員・理事・支部役員

(令和元年6月23日現在)

【同窓会本部役員】

- 会長 曾根 秀敏 (高14)
副会長 長 重治 (高13)
副会長 伊藤 修治 (高17)
副会長 小島 信男 (高17)
副会長 高橋 浩 (高17)
副会長 青木 治美 (高18)
副会長 米大井 理恵子 (高18)
副会長 井萱 修己 (高19)
副会長 松本 茂 (高20)
副会長 見上 正信 (高23)
副会長 長 和久 (高23)
副会長 石塚 修 (高28)
監事 大貫 政一 (高17)
監事 伊東 一男 (高20)

【同窓会本部事務局】

- 事務局長 石塚 修 (高28)
事務局次長 志村 祐一 (高24)
事務局次長 松下 博俊 (高33)
事務局次長 平賀 友子 (高35)
会計 安藤 康恵 (高26)
会計 長田 靖子 (高33)

【理事】

- 1 齊藤 実 (高25)
2 高橋 昌和 (高27)
3 齋藤 憲司 (高29)
4 岡崎 雄二 (高15)
5 金子 輝司 (高15)
6 大矢 正次 (高14)

- 7 大貫 邦重 (高16)
8 町山 良行 (高11)
9 鶴指 眞澄 (高15)
10 石川 創一 (高18)
11 泊瀬川 孚 (高14)
12 伊藤 修治 (高17)
13 新川 勉 (高30)
14 大塚 定男 (高20)
15 平野 亮二 (高27)
16 剣持 典子 (高26)
17 伊藤 桂 (高16)
18 小淵 正志 (高18)
19 中村 伸行 (高13)
20 小菅 和夫 (高19)
21 下嶋 和美 (高20)
22 高橋 浩 (高17)
23 山田 和彦 (高24)
24 足立 一彦 (高17)
25 毛利 昇 (高16)
26 八田 誠 (高36)
27 伊藤 学 (高30)
28 齋藤 昌代 (高26)
29 阿部 洋 (高22)
30 真崎 和秋 (高22)
31 今井 雅裕 (高26)
32 関野 俊之 (高28)
33 小川 均 (高22)
34 入澤 隆 (高16)

【各地区同窓会支部】

- 1. 伊勢原戸陵会
会長 廣木 孝幸 (高19)
事務局長 齋藤 実 (高25)
2. 栗野戸陵会
会長 谷 茂 (高22)
事務局長 松永 光弘 (高24)
3. 津久井戸陵会
会長 小林 義廣 (高18)
事務局長 齋藤 憲司 (高29)
4. 平塚戸陵会
会長 落合 重治 (高13)
幹事長 渡辺 兼行 (高19)
5. 相模原戸陵会
会長 金子 輝司 (高15)
事務局長 三沢 賢一 (高21)
6. 座間戸陵会
会長 大矢 政次 (高14)
事務局長 瀬戸 一幸 (高17)
7. 愛川戸陵会
会長 大貫 邦重 (高16)
幹事長 井上 隆 (高17)
8. 川崎市多摩麻生戸陵会
会長 町山 良行 (高11)
9. 綾瀬戸陵会
会長 近藤 亘 (高14)
事務局長 八田 誠 (高36)
10. 海老名戸陵会
会長 三橋 正春 (高18)
事務局長 鶴指 眞澄 (高15)
11. 三浦半島戸陵会
会長 伊藤 学 (高30)
12. 大和戸陵会
会長 石川 創一 (高18)
事務局長 長田 靖子 (高33)
13. 藤沢戸陵会(旧御所見)
会長 泊瀬川 孚 (高14)
事務局長 大貫 睦男 (高17)

- 14. 厚木連合戸陵会
会長 伊藤 修治 (高17)
幹事長 森久保 純生 (高16)
事務局長 足立 一彦 (高17)
① 厚木戸陵会
会長 足立原 強 (高16)
事務局長 大沢 弘 (高25)
② 依知戸陵会
会長 大塚 定男 (高20)
事務局長 鈴木 正次 (高20)
③ 睦合戸陵会
会長 平野 亮二 (高27)
事務局長 中山 和男 (高26)
④ 荻野戸陵会
会長 毛利 昇 (高16)
事務局長 伏見 清 (高18)
⑤ 小鮎戸陵会
会長 伊藤 桂 (高16)
事務局長 江藤 孜 (高16)
⑥ 南毛利戸陵会
会長 小淵 正志 (高18)
事務局長 渡辺 和男 (高21)
⑦ 玉川・森の里戸陵会
会長 中村 伸行 (高13)
事務局長 中山 博方 (高23)
⑧ 相川戸陵会
会長 小菅 和夫 (高19)
事務局長 小塩 恒夫 (高22)
15. 清川戸陵会
会長 下嶋 和美 (高20)
事務局長 落合 秀夫 (高27)
16. 新潟戸陵会
会長 青木 茂治 (高9)
事務局長 齊藤 勝司 (高8)
17. 関西戸陵会
会長 齊藤 十内 (高16)
事務局長 福本 豊 (高28)
18. さくら戸陵会
会長 大井 理恵子 (高18)
事務局長 齋藤 昌代 (高26)



http://www.atsukou-dousou.org

同窓会本部では、公式ホームページを開設しています。主な内容は次の通りです。

同窓会ホームページのご案内

- 【同窓会概要】
本部役員紹介/会則/母校教育振興基金規定/活動活性化補助金交付要綱/会費についてなど
【学校の歴史・校歌】
沿革の大事/県立第三中学校創立略史/同窓会の歴史など
【お知らせ】
同期会・OB会情報/バックナンバーなど
【総会報告】
総会資料/写真集など
【支部会のご案内】
各支部の活動報告など
【同窓会会報】
会報バックナンバー/各支部会報/部活OB会報など
動画や写真など、多彩な内容でお伝えしています。

事務局便り

校内事務局スタッフ
今年度は池田優太郎先生、霜島士郎先生を新たに迎え、次の9名の人員で活動してまいります。
●令和最初の同窓会報の発行にあたり、従来の発行日を変更したとはいえず、当初の予定を大幅に遅らせてしまいましたことを、まずもって会員の皆様にお詫びを申し上げます。また、総会や行事等の支部活動に合わせて配布を計画していた支部役員の方々や広告協賛を出稿いただいた同窓企業の皆様にもご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。

編集後記

●昨年の同窓会総会記事(2面)にあるように、今号から厚木連合戸陵会『戸陵会だより』との一元化発行することになり、発行時期の繰り下げと合わせ、掲載内容も今回に限り約1年半分の情報を集約いたしました。次号送りの原稿や部分削除にご協力いただき、ありがとうございました。

2017-20年度 広報委員会委員 (令和元年6月2日補足)

Table with 5 columns: 役職, 氏名, 卒回, 所属戸陵会, 連絡先. Lists members of the Publicity Committee with their names, graduation years, affiliated schools, and contact information.